一昨年前まで市内の小 学校の校長をされていた 大久保雅 (みやび) 先生に 先々週と、先週、2回来で いただいて、子どもたちが

「絵手紙」を教えていた だきました。とっても楽し い作品ができあがりまし た。お世話になった地域の

職員が、自分が出会った、60歳から水

代表委員会。6月の**生活目標**があまり

守れなかったので、7月も続けてそれにす るかどうかで、真剣に話し合いました。

泳を始めて 70 歳になってもバタフライ を泳ぐおばあさんの話をしました。自分

のめあてに向かって**挑戦しよう**!と。

7月の朝の歌は「ほしまつり」。今週の月曜日に、初めて全校生 で歌いました。まだ、練習は少ししかしていないはずですが、きれ

いな声で大きな口を開けて歌っていました。練習が進むと二部合唱 になるようです。みんなの歌声で七夕の夜が晴れるといいですね。

方や、たくさん作った子は友だちや親戚の子に送ったりするようです。 きっと、喜ばれると思います。

大久保先生は、何年か前には、南小学校で担任や教頭もされていたよ うです。校長室から、運動場で遊ぶ子どもをなつかしそうに眺めていら っしゃいました。そこへ、教えてもらった子どもたちが、廊下から顔を

覗かせて挨拶に来ました。そ の後、これから教えていただ

く6年生の子も「よろしくお願いします。」と笑

顔を見せてくれました。聞くと、前に教えた子 たちと廊下で出会うと、「大久保先生、こんにち は。」と挨拶をしてくれるようです。偶然、学校 の外で出会ったときも明るい挨拶をしてくれた ようです。嬉しそうにお話になりました。お世 話になった方に、きちんと礼を尽くすというこ とは大切なことです。学校の学習のために、子 どもたちの成長のために。

息せき切って、「クワガタがおるから取らせ て!」と男の子が走ってきました。金網フェン スの外側の木に見つけたようで、フェンスの鍵 を開けて外へ出なければならないところです。

その鍵は職員しか開けてはいけないことになっています。鍵を開けてその木に2人で近づ いていくと、何人かの子どもたちがフェンス越しにに集まってきました。男の子が「ヒラ タやと思うねんけど。」というと、周りの子たちが、「小クワやろ。」とか「クワタガかなあ? ただの虫やろ。」などと口々に話しています。小さなクワガタ?が木の穴の奥の方に見えて います。男の子が手を入れて取ろうとしましたがなかなか手が届きません。そのとき、取 り巻きの一人が、「その穴は、嘘をつく人が手を入れると塞がってしまって抜けなくなる穴

やで~」と、どこかで聞いたようなことを言いました。・・・・「クワガ タと違うかもしれへんな。」「もうちょっと外に出てくるまで待っとこか。」 ということになりました。それにしても、物知りな子がいるものです。し かも、このタイミングでその話を出すとは!わたしは、古い映画の一場面 を思い浮かべました。きっと、保護者の皆さんはご存じないと思います。

子どもたちが、登校中に作った**笹船**ふたつ。あり がとう。交通安全の願いを乗せて流しましょう。

手紙 が 成 は カコ Š つく顔